

5. 日本のVDIシステムへの接続

事例5-1. 中国国内から日本のVDIサーバーへの安定した接続

【導入プラン】: IX-NET for VDI

・縁通が提供するIX-Router を利用

【業種】: 鉄鋼関連メーカー

・従業員数: 約3,000名

・利用拠点: 中国

◆ IX-NET 導入の背景

中国で勤務する日本人駐在員の日本本社システムへの接続にVPN通信経由でVDIを利用していた。中国—日本間の国際インターネットVPN経由での接続は、通信品質の安定性に難があり、度々VDIシステム利用に支障が出ていた。

中国側でのVDI利用者は数人の日本人に限られており、国際専用回線を敷設するまでの予算は無い状態で、何かの解決策を講ずる必要があった。

◆ IX-NET が選ばれた理由

1. 常に安定した接続ができるインターネット通信環境を低コストで確保すること:

- ・これまでのIX-NETサービスの実績とその費用感のご説明により、予算内に収まるものごと判断された。
- ・あとは安定した十分な通信品質を常に得られるかどうかを事前検証によって見極めることとなった。
1週間の事前検証中、一度も通信の途切れや遅延などが発生しないことを確認され採用に至った。

2. 環境構築の簡易性

※ 簡単なDNS設定とルーティング変更だけで、すぐに利用開始。

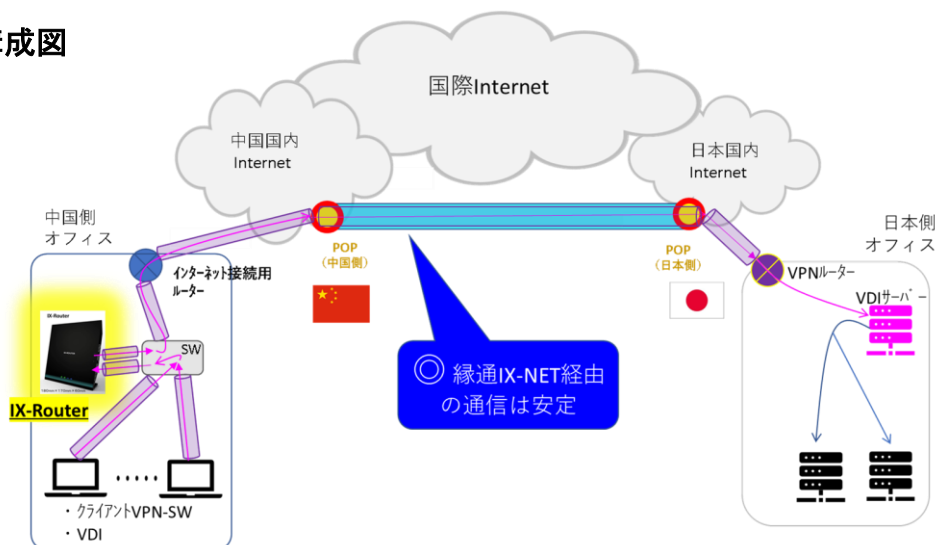
- ① IX-NET経由で日本のVDIへ接続するための通信設定が実装されたIX-Router を現地オフィスへ郵送
- ② IX-Router 経由でVPN接続後に、日本のVDIサーバーへ接続、さらに社内サーバーへ接続

◆ 導入の効果

これまでの、国際区間のインターネット接続が不安定で十分な通信品質が得られないため VDI が利用できず、業務遂行不可の状況に陥っていた。(復旧めども立たないことから業務への支障でストレスが膨らんでいた)。

今般のIX-NETサービスの導入により、常に安定したインターネット通信環境でVDI利用ができるようになったことから、無駄な待ち時間やストレスから解放された。

◆ システム構成図



※この事例と関連する他の事例

事例1-2. 中国国内の在宅勤務者による日本への安定した国際通信を実現